



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

内閣府消費者委員会
意見交換会 資料

日本証券業協会におけるSDGsにむけた取組み ～サステナブルファイナンスの推進を中心に～

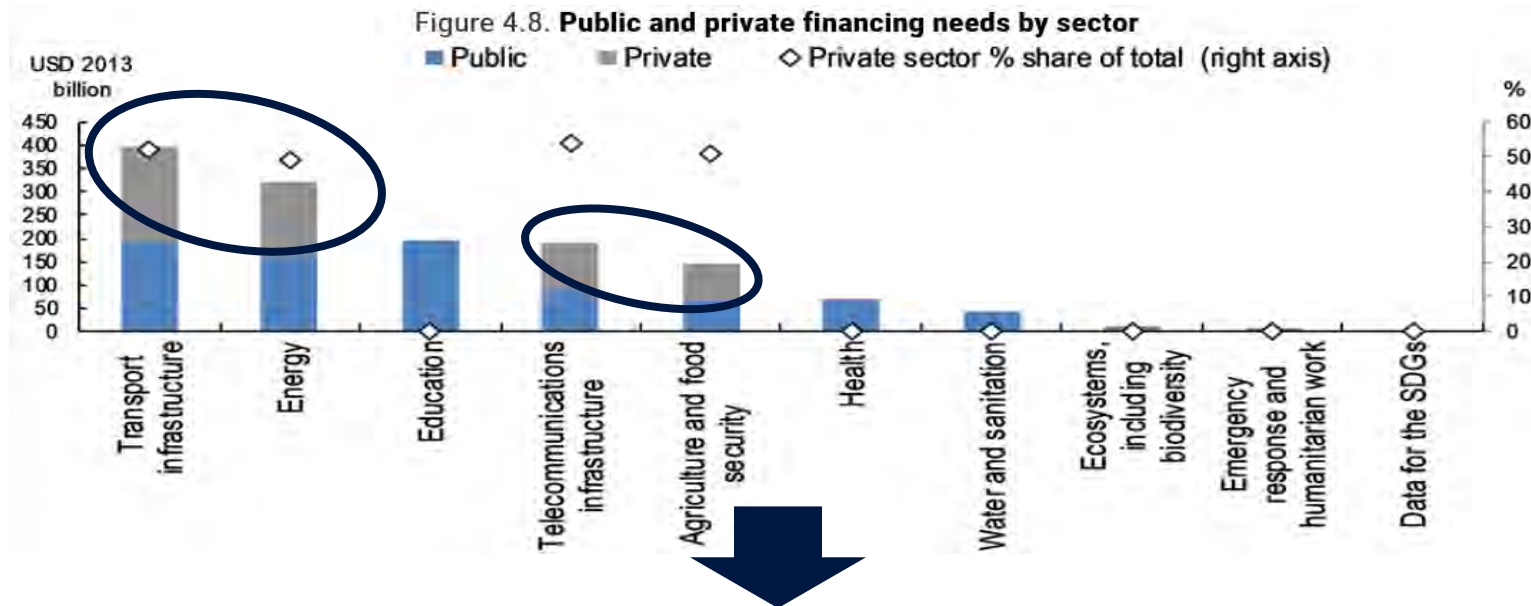
エグゼクティブサマリー

2022年7月8日
日本証券業協会

現下の国際社会は、貧困、飢餓、国際保健、教育といった伝統的課題から、今日的課題である気候変動や海洋、陸上資源の保全等幅広くかつ喫緊の課題に直面

(UNCTAD「World Investment Report 2014」より)

- SDGsの達成には世界全体で**年間5兆～7兆ドル**、このうち開発途上国においては年間約3・3兆～4・5兆ドルの投資が必要になる（2015～30年）。
- セクター別の資金調達ニーズとしては、「輸送インフラ」、「エネルギー」、「通信インフラ」や「農業、食料安全保障」に係る分野に民間の資金のニーズがある。

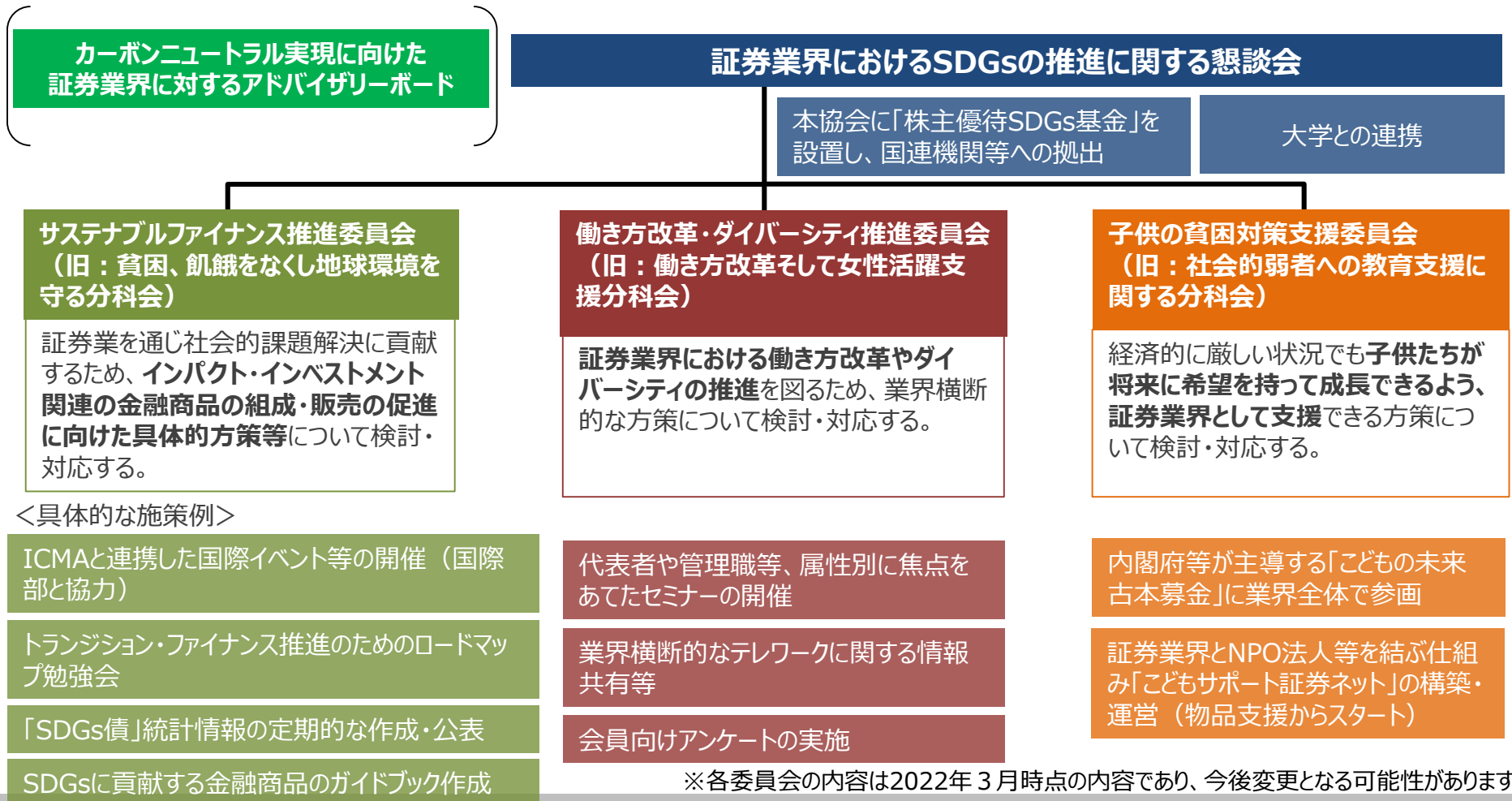


資金不足に対応するためには、公的部門からの投資のみではなく、民間資金の活用が不可欠。民間からSDGs達成への投資を促進する有効な手段としては、SDGs債の活用などが挙げられる。

日本証券業協会におけるSDGsにむけた取組み 本協会におけるSDGsへの取組に関する会議体



- ✓ SDGsで掲げられている社会的な課題に証券業界全体で積極的に取り組んでいくため、本協会会長の諮問機関として「証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会」を設置（2017年9月19日）
- ✓ 加速するカーボンニュートラルの実現に向けた動きに証券業界としても貢献ができるよう、多角的な視点から必要な助言を受けるため、本協会会長の諮問機関として、「カーボンニュートラル実現に向けた証券業界に対するアドバイザリーボード」を設置（2021年10月19日）



国際イベントを通じたSDGs推進に向けた取組みとして アミーナ・モハメド国連副事務総長と面談

日時：2018年2月7日（水）午前10時50分～11時20分

場所：国連副事務総長オフィス 応接室

先方：アミーナ・モハメド副事務総長、鈴木戦略企画・モニタリング部門 ディレクター、小野上級経済担当官、
ルイーザ・カースト経済社会局アソシエイト・オフィサー

当方：鈴木会長、森本副会長、川村大和総研副理事長、田代大和証券グループ本社専務執行役、
石倉執行役、成松審議役、西村SDGs推進室長（肩書等は当時）

面談概要

「社会的弱者への教育支援に関する分科会」

子供の貧困問題に関し、アフリカや東南アジアでは、子供の栄養不足が最も問題となっており、それらの国々ではまずは栄養プログラムを実施している。ただ、貧困からの脱却には教育も非常に重要であり、教育をサポートする取組みを評価する。

今後もファイナンスに関しては、政府や民間が連携して取り組むべき余地は沢山ある。ファイナンスの規模が大きくなり投資が促進されることで、民間企業のSDGsの取組みがより一層進むだろう。



日本証券業協会におけるSDGsにむけた取り組み 大学との連携事業（東京大学との共催シンポジウム）



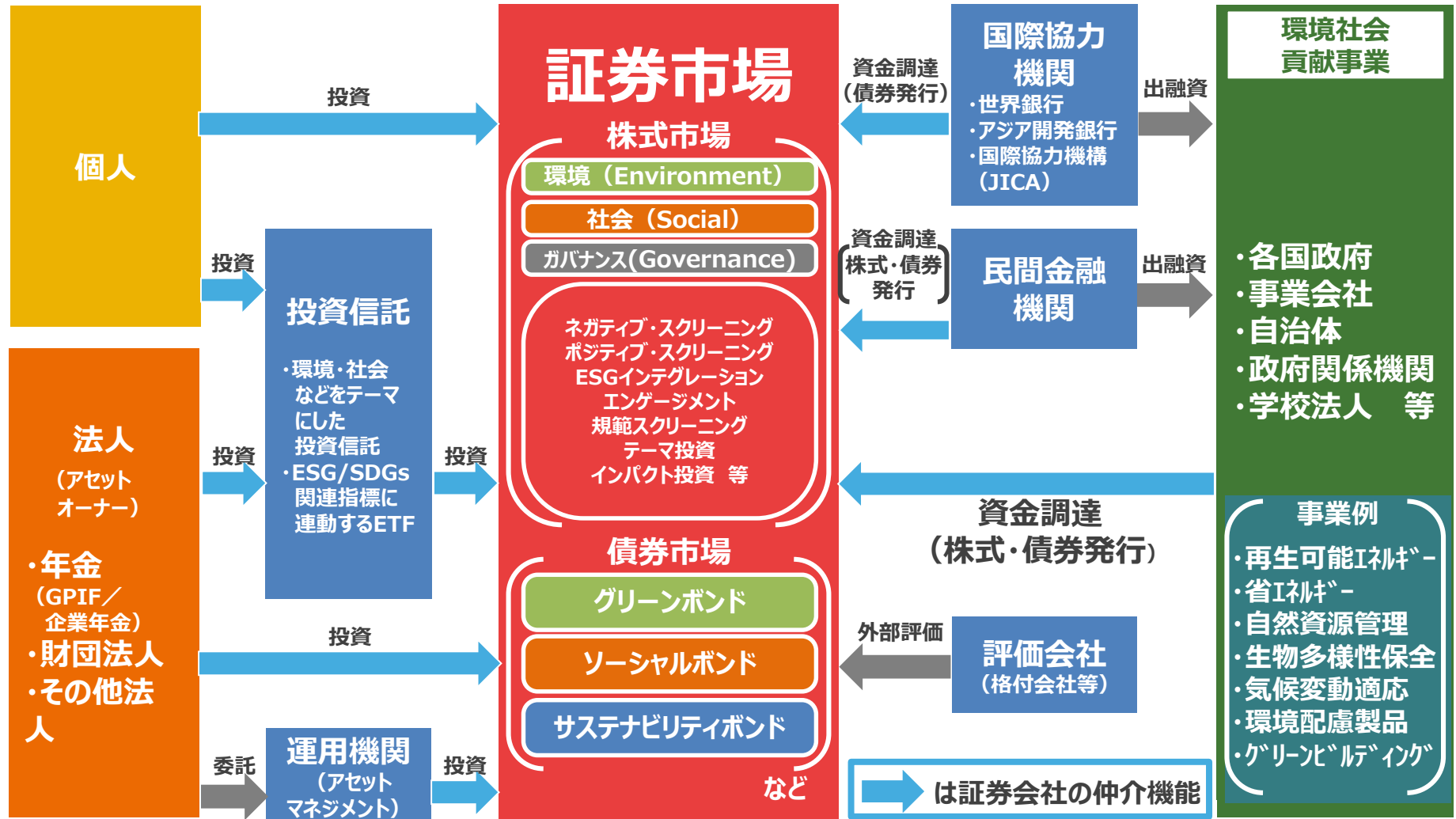
東京大学が大学債をソーシャルボンドとして200億円発行したことを踏まえ、大学債の社会的意義、大学の資金調達手段としての債券の役割、大学債のソーシャル性・SDGsへの整合性、ソーシャルボンドの現状と課題等といった内容をテーマとしたカンファレンスを以下のとおり、東京大学との共催により、開催した。

日程	2021年1月15日（金） 10時30分 ～ 12時00分
タイトル	東京大学×日本証券業協会 大学債／ソーシャルボンド カンファレンス ～初の大学債、発行の意義とSDGsへの貢献～
場所	太陽生命日本橋ビル 26階 及び ZOOMによる配信 ※本会場には新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ登壇者のみが来場
主な参加対象者	全国の大学関係者（国公私立大学 財務部長、社会連携担当）、学生、証券関係者等
参加者数	ZOOM 280名（参加申込300名）

サステナブルファイナンス全体概要

サステナブルファイナンスにおけるインベストメントチェーン

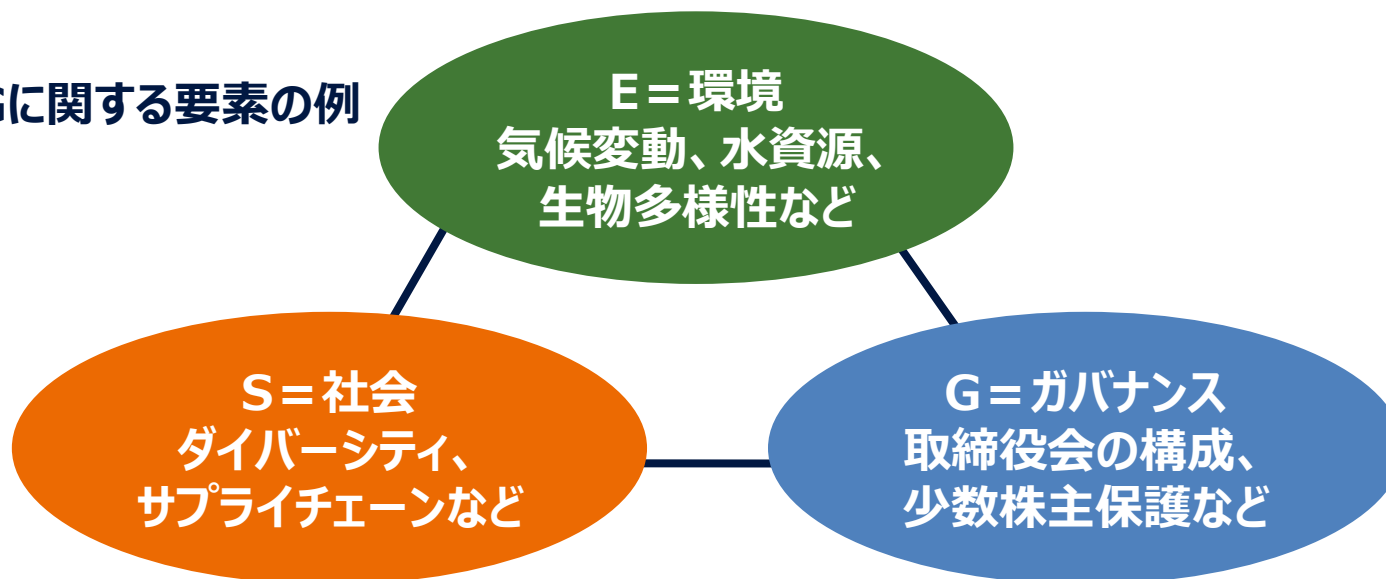
サステナブルファイナンスにおけるインベストメントチェーンにおいて証券会社の仲介機能が重要な役割を果たす



ESGは、環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）を合わせた言葉
投資をするために企業等の価値を測る要素

- ESG投資は、SDGs等で掲げられた環境・社会・経済関連課題の解決等を目的とした投資に用いられる
- 2006年に国連のアナン事務総長（当時）が機関投資家に対し、ESGを投資プロセスに組み入れる「責任投資原則」（PRI）を提唱したことがきっかけに金融市場に広まった
- 日本では、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）PRI署名を契機に、ESG投資が急速拡大

ESGに関する要素の例



ESG投資とSDGsの関係

社会的な課題解決が事業機会と投資機会を生む

